

# 石綿含有成形板等除去工事特記仕様書

米沢市建設部建築住宅課

## 1 適用範囲

本仕様書は、米沢市（以下「発注者」）が発注する「市営住宅解体工事（吾妻町団地 10 号棟）（以下、本工事）」における石綿成形板等除去工事に適用する。

本仕様書に規定していない事項については、本体解体工事の特記仕様書、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事改修標準仕様書（建築工事編）（最新版）」及び「建築物解体工事共通仕様書（最新版）・同解説」並びに大気汚染防止法（令和 2 年 6 月改定）及び厚生労働省・環境省の「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル（令和 6 年 2 月改正（令和 7 年 3 月訂正事項反映）」に基づき施工を行うこと。

## 2 工事概要

本工事において解体する本体建物に使用されていた石綿含有建材を建物解体に先立ち除去するものである。本工事の石綿含有建材は、次のとおりである。

- ・台 所：内壁、天井（みなし含有）
- ・洗面所：天井（みなし含有）
- ・玄 関：天井（みなし含有）
- ・便 所：床（みなし含有）
- ・増築部：軒天及びアスファルトルーフィング
- ・既存部：アスファルトルーフィング

## 3 除去対象面積

図面参照（参考）

## 4 事前調査の実施

本工事は発注者により、石綿含有建材に係る事前調査（分析・みなし）が行われているため、これらの調査結果の記録を確認しその結果を書面で説明すること。なお、発注者により事前調査がなされていない建材を、目視調査の段階で構造上確認することができない場合や解体等工事着手後に当該解体箇所の図面に記載のない建材を確認した場合、目視が可能となった時点で調査を行うこと。この場合の調査費用等は別途協議とする。

（※事前調査の調査者等：令和 5（2023）年 10 月より 建築物石綿含有建材調査者登録規程に基づく講習を修了した特定建築物石綿含有建材調査者及び一般建築物石綿含有建材調査者又はこれらの者と同等以上の能力を有すると認められる者）

## 5 事前調査結果記録の報告・保存

事前調査を行った調査者等は事前調査結果の記録を作成し、事前調査説明書面と併せて発注者へ報告すること。（事前調査結果記録及び事前調査説明書面は解体工事が終了した日から、発注者、受注者双方で 3 年間保存する）

当該調査の結果は石綿含有の有無に関わらず、解体等工事に着手する前に県及び労働基準監督署に報告すること。なお、解体工事着手前に目視することができない箇所があった場合は、解体等工事に着手した後に目視が可能となった時点で調査を行い再度報告すること。（原則として石綿事前調査結果報告システム(gBiz)を通じて報告を行うこと）

当該記録の写しは除去等の作業中に現場に備え付ける。

## 6 作業計画書の作成

施工に先立ち、除去工事に伴う作業計画書（施工計画書）を作成する。作業計画書には次の事項を盛り込み、関係機関の指示により必要に応じて項目を追加して作成する。

### ①工事の概要

氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名、同工事の場所

### ②石綿含有建材除去等作業

特定粉じん排出等作業の種類、実施の期間、対象となる建築物等の部分における石綿含有建材の種類並びにその使用箇所及び使用面積

### ③石綿飛散防止措置

特定粉じん排出等作業の方法、対象となる建築物等の概要、配置図及び付近の状況

### ④工事の工程表

特定粉じん排出等作業の工程を明示した建設工事の工程の概要

### ⑤施工体制

現場責任者の氏名及び連絡場所、下請負人が特定粉じん排出等作業を実施する場合の当該下請負人の現場責任者の氏名及び連絡場所

### ⑥安全衛生

石綿使用建築物等解体等作業を行う労働者への石綿等の粉じんのばく露を防止する方法

※詳細な記載内容は、「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底底マニュアル」参照すること。

## 7 事前調査結果及び作業内容等の掲示

事前調査の結果の掲示は、石綿含有の有無や届出の対象か否かに関わらず、全ての解体等工事で掲示すること。また石綿含有建材の除去等作業を行う際は、作業方法等の必要事項を表示した掲示板の設置をすること。なお、特定建築材料の区分ごとに記載内容が変わるため、詳細は「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」参照すること。

## 8 除去工事共通事項

石綿作業主任者：石綿障害予防規則に基づき、「石綿作業主任者技能講習」を終了したものの  
中から石綿作業主任者を選定し、現場に常駐させ、職務中は修了証を携帯すること。

石綿作業主任者は、従事する労働者が石綿等の粉じんにより汚染され、又はこれらを吸引しないよう、作業の方法を決定して労働者を指揮するほか、集じん・排気装置等の点検、労働者の保護具の使用状況の監視を行うこと。また、石綿作業主任者は、隔離をとまなう作業を行う除去等作業において、「石綿等に関する知識を有する者」として、取り残しがないことの確認を行うことができる。

・除去作業員：除去に従事する作業員は、次の要件のいずれも満たした者とする。

①石綿障害予防規則第 27 条に基づく特別の教育を受けた者。

②一般健康診断、石綿健康診断及びじん肺健康診断を受診した者で、肺機能に異常がない者。

なお、特別教育を受けたことがわかる書類及び健康診断書等を確認し監督職員に提示すること。

・特別管理産業廃棄物管理責任者：特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を選任し管理させる。

特別管理産業廃棄物管理責任者は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第 8 条の 17 に定める資格を有する者でなければならない。特別管理産業廃棄物管理責任者の役割を次に示す。

①特別管理産業廃棄物（廃石綿等）の排出状況の把握

②処理計画の立案

③適正な処理の確保（保管状況の確認、委託業者の選定や適正な委託の実施、管理票の交付・保管等）

## 9 石綿含有建材の除去等作業が適切に行われたことの確認及び作業の記録

除去等作業が適切に行われたことの確認は以下について行う

①除去等作業において、作業計画どおりの飛散・ばく露防止措置がとられていたこと。

②除去作業終了後に除去面に石綿の取り残しがないか（封じ込め又は囲い込みを行う場合は、適切な飛散防止措置がとられていること）、その他作業区域内へ破片の飛散や堆積粉じんがないか

上記①及び②の確認終了後、確認したことを証明する記録を作成し作業完了報告書と併せて発注者へ報告する。（記録は作業完了報告書の写しを含め 3 年間保存）なお、労働者の健康管理のための記録は 40 年間保存すること。

## 10 石綿含有成形板等の除去作業留意事項

10-1 石綿含有成形板等（けい酸カルシウム板第 1 種を含む）を原形のまま取り外して除去する場合

①準備作業

外部足場の設置のほか、外部養生、床養生等は適宜実施すること。

②呼吸用保護具、保護衣

専門の作業衣又は保護衣を着用し、取替え式防塵マスク(RS2 又は RL2)を使用すること。

### ③除去作業

石綿含有成形板等を原形のまま取り外し、除去した廃棄物は湿潤化しシート養生による飛散防止を推奨。

(※原形のままの除去が困難な場合は 10-2 の作業手順参照)

## 10-2 石綿含有成形板等(※けい酸カルシウム板第 1 種を含む)を切断等により除去する場合

### ①準備作業

外部足場の設置は適宜実施すること。

### ②呼吸用保護具、保護衣

- ・飛散性が比較的高い石綿含有成形板(けい酸カルシウム板第 1 種)の場合  
フード付き保護衣を着用し、電動ファン付きと同等以上の呼吸用保護具を使用すること。
- ・その他の石綿含有成形板の場合  
専門の作業衣又は保護衣を着用し、電動ファン付き又は取替え式防じんマスク(RS3 又は RL3)を使用すること。

### ※③隔離養生(負圧不要)

石綿含有けい酸カルシウム板第 1 種を切断等により除去する場合は、隔離養生(負圧不要)を行う必要がある。また、石綿含有けい酸カルシウム板第 1 種を切断等により除去する場合以外でも、建物が隣接している場合や粉じんの発生量が多い場合、状況に応じて養生を行うこと。(隔離養生(負圧不要)とは、石綿繊維の飛散や周辺で作業している作業員へのばく露を防ぐため、作業場の周囲及び上下をプラスチックシート等、防炎シート、防音シート、防音パネル等で囲うこと)

### ④湿潤化

当該建材は粉じん飛散の程度に応じて、エアレススプレー等により、十分な湿潤化を行うこと。計画策定時は、湿潤化により極度に悪影響を受ける周辺機器や居室等が隣接していないか調査し、それらの対策を盛り込んだ計画とする。なお、湿潤化が著しく困難な場合は、局所集じん装置の使用等による飛散防止措置を実施すること。

### ⑤除去作業

切断等により除去し、除去した廃棄物は湿潤化し、シート養生により飛散防止を行うこと。

## 11 石綿含有成形板等の除去作業後の共通事項

### ①廃棄物の処理

除去した石綿含有成形板等は、廃棄物処理法に従い、石綿含有廃棄物として適切に保管・運搬・処分を行うこと。

排出事業者は、石綿含有産業廃棄物の飛散を防止するため、石綿含有産業廃棄物が運搬されるまでの間、次の措置を行うこと。

- (1) 荷重により変形又は破断しないよう整然と積み重ねる。
- (2) 飛散しないよう シート掛けする、梱包する等の対策を講ずる。
- (3) 保管場所には、石綿含有廃棄物保管所であることの表示を行い、石綿等が入っていること及びその取り扱い上の注意事項の表示も行うこと。

なお、石綿含有けい酸カルシウム板第 1 種が切断・破砕されて廃棄物となったもの、除去時に用具又は器具等に付着した石綿含有廃棄物等は、飛散性が比較的高いと考えられるため、フレキシブルコンテナや十分な強度を有するプラスチック袋等に梱包して廃棄物の露出がないようにすること。

## ②清掃・その他の処理

取り外した材料は原則として湿潤化すること。隔離養生（負圧不要）を行った場合、隔離養生の解除にあたっては、あらかじめ、高性能真空掃除機により隔離空間の内部の清掃を行う。細かいものは高性能真空掃除機にて清掃する。防音シートや防音パネル、作業床（足場）等の仮設機材に付着した石綿を含む汚れを濡れ雑巾や高性能真空掃除機にて十分に取り除いたあと解体し、場外へ搬出する。

## 12 廃石綿の処分

本体解体工事の特記仕様書による。